2027年3月期　第2四半期

決算説明資料

株式会社ウイルテック

（証券コード：7087）

中長期的な成長に向けて

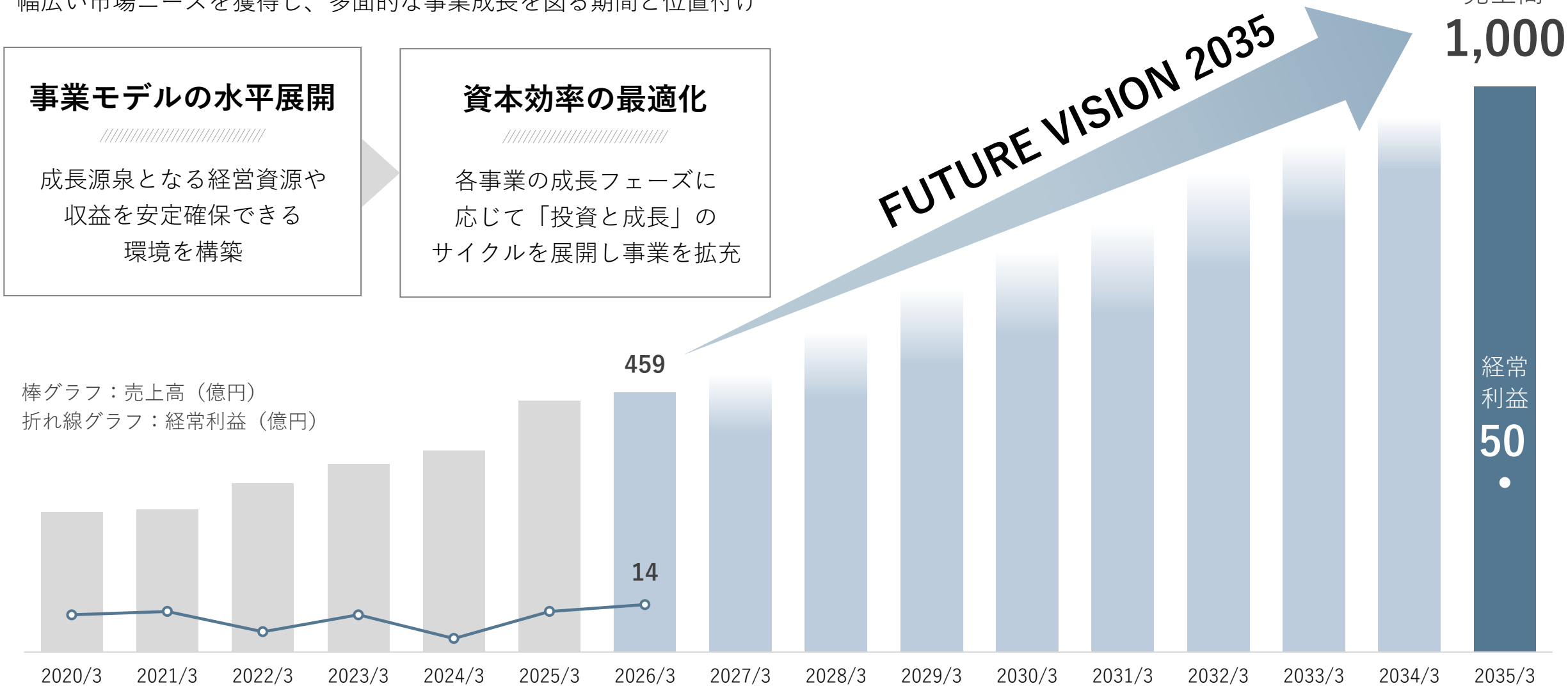
事業の効率性を高めながら、今後のさらなる成長に向けた事業モデルの水平展開をすすめ、
幅広い市場ニーズを獲得し、多面的な事業成長を図る期間と位置付け

事業モデルの水平展開

成長源泉となる経営資源や
収益を安定確保できる
環境を構築

資本効率の最適化

各事業の成長フェーズに
応じて「投資と成長」の
サイクルを展開し事業を拡充



2027年3月期第2四半期　ハイライト

過去最高

売上高 **241億**

前年同期比 +10.3%

過去最高

経常利益 **8.3億**

前年同期比 +241.7%

経常利益率 **3.5%**

前年同期比 +2.3pt

サマリ

■ 第2四半期の売上高および経常利益は増収増益

増収増益要因：市場での開発投資が促進され
- ・技術者派遣事業の需要獲得が進捗
- ・EMS事業におけるBtoB向けサービスの市場開拓が進展

■ 2027年3月期の見通し

市況の不透明感があるため、通期計画は据え置き

目次

01 ウイルテックの事業概要 p.5~

02 2027年3月期 第2四半期決算 p.7~

03 2027年3月期業績予想＋適時開示 p.13~

04 APPENDIX p.17~

■ 数値に関する注意事項

当資料については、特段の注記がない限り数字については表示単位未満切捨て、比率、年数及び倍率等については表示単位未満四捨五入して表示しています。

■ 見通しに関する注意事項

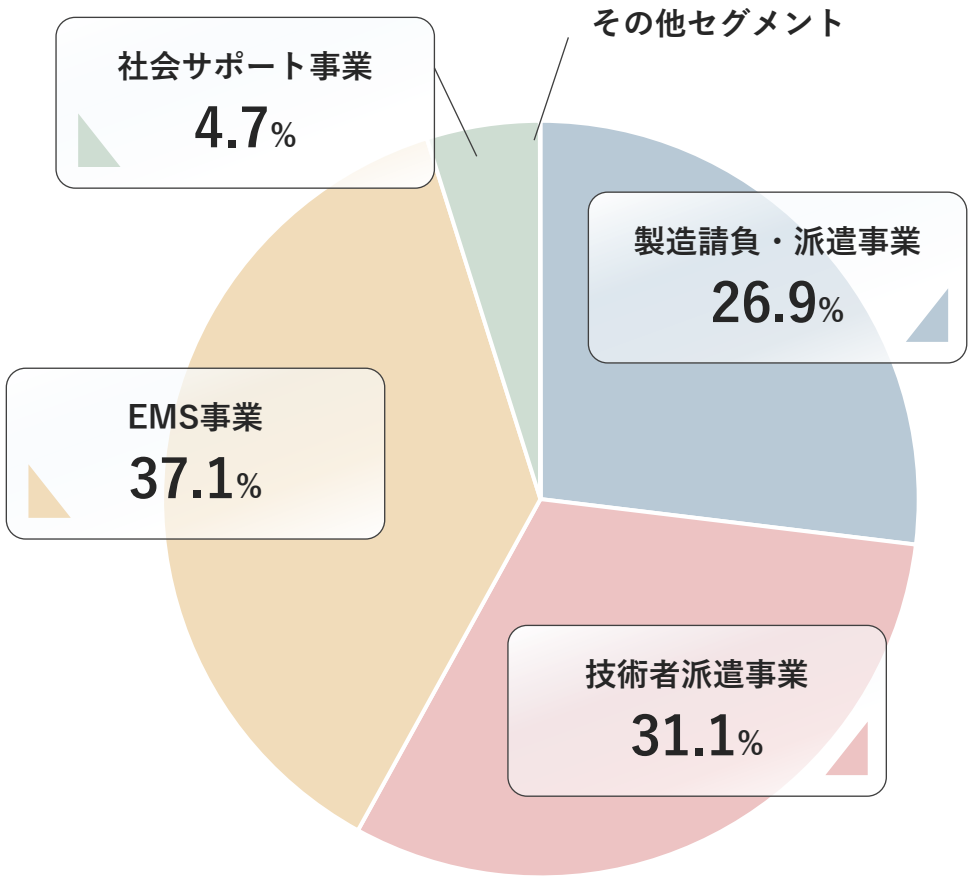
当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

01

ウイルテックの事業概要

事業セグメント

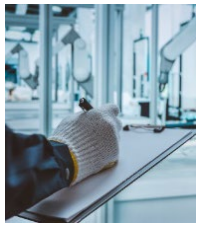
売上構成比（2026年3月期）



人財系フィールド

製造請負・派遣事業

「製造派遣」「製造請負」という2つの形態で、お客様の製造現場における製品の安定生産や生産性向上をサポート。



技術者派遣事業

機電系、建設系、IT系などの高い専門性が求められる領域において、当社の技術者を派遣し技術開発やDX化を支援。



モノ・コトづくりフィールド

EMS事業

電子機器の製造を受託するサービスを展開。製品の設計から保守までを「国内一気通貫」で請け負える点が特徴。



社会サポート事業

世の中の社会課題を成長領域と捉えて事業を推進。現在は社会インフラや雇用サポートなどの領域でサービスを展開。



02

2027年3月期　第2四半期決算

2027年3月期第2四半期　決算概要

項目（百万円）	2026/3期　第2四半期		2027/3期　第2四半期		前年同期比		
	実績	対売上比率	実績	対売上比率	増減額	増減率	対売上比率
売上高	**21,884**	-	**24,138**	-	**＋2,253**	**＋10.3%**	-
-　売上原価	17,885	81.7%	19,328	80.1%	＋1,443	＋8.1%	▲1.7pt
売上総利益	**3,999**	18.3%	**4,809**	**19.9%**	**＋810**	**＋20.3%**	**＋1.7pt**
-　販売費及び一般管理費	3,838	17.5%	4,090	16.9%	＋252	＋6.6%	▲0.6pt
営業利益	**161**	0.7%	**718**	**3.0%**	**＋557**	**＋346.0%**	**＋2.2pt**
経常利益	**244**	1.1%	**834**	**3.5%**	**＋590**	**＋241.7%**	**＋2.3pt**
親会社株主に帰属する中間純利益	**101**	0.5%	**492**	**2.0%**	**＋391**	**＋387.7%**	**＋1.6pt**

営業利益の増減要因分析

売上高影響
（営業面の効果）

- 技術者派遣事業において、配属が順調に進捗し高水準での売上成長を維持
- EMS事業において、BtoBでのLED照明への切り替え需要を獲得し、売上が伸長

粗利率変化
（原価改善の効果）

- 技術者派遣事業において配属が進み、前期の稼働率を上回ったことにより粗利率が向上
- 照明機器製造・販売において工場の操業率が向上したことにより原価率低減

販管費影響
（労務費・諸経費の増低減効果）

- オフィス移転に伴う費用が発生
- 事業成長に伴い、投資を実施

（百万円）

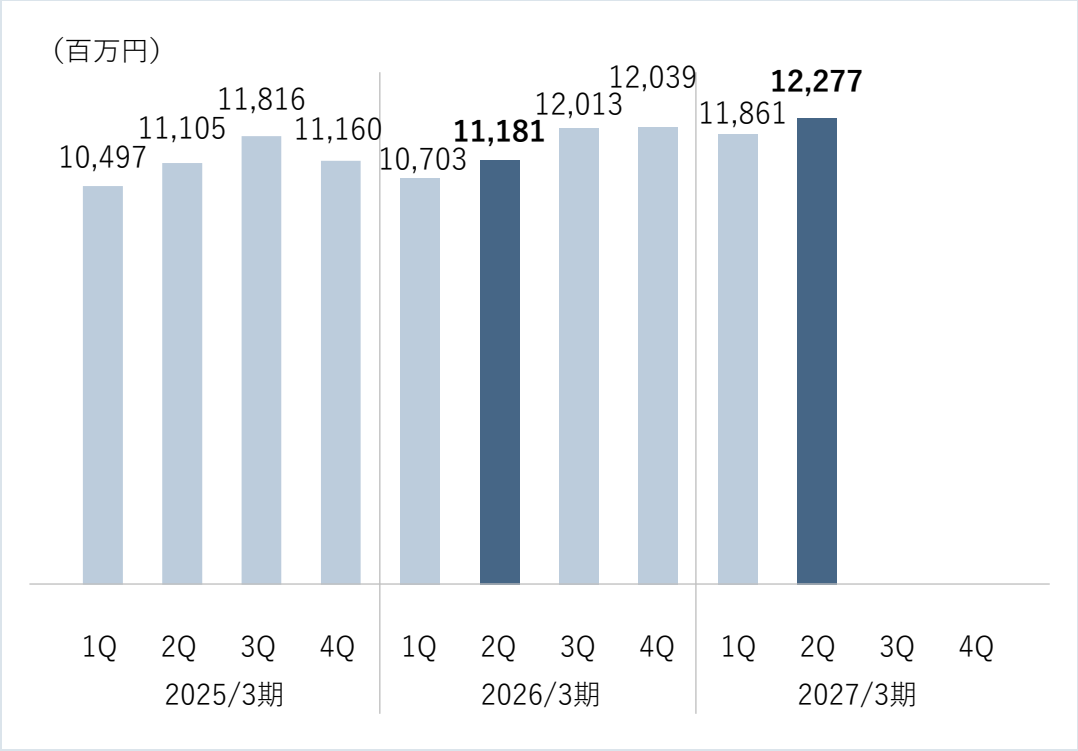


四半期単位の業績推移

売上高

前年同四半期比： 4事業とも順調に需要を取り込み増収

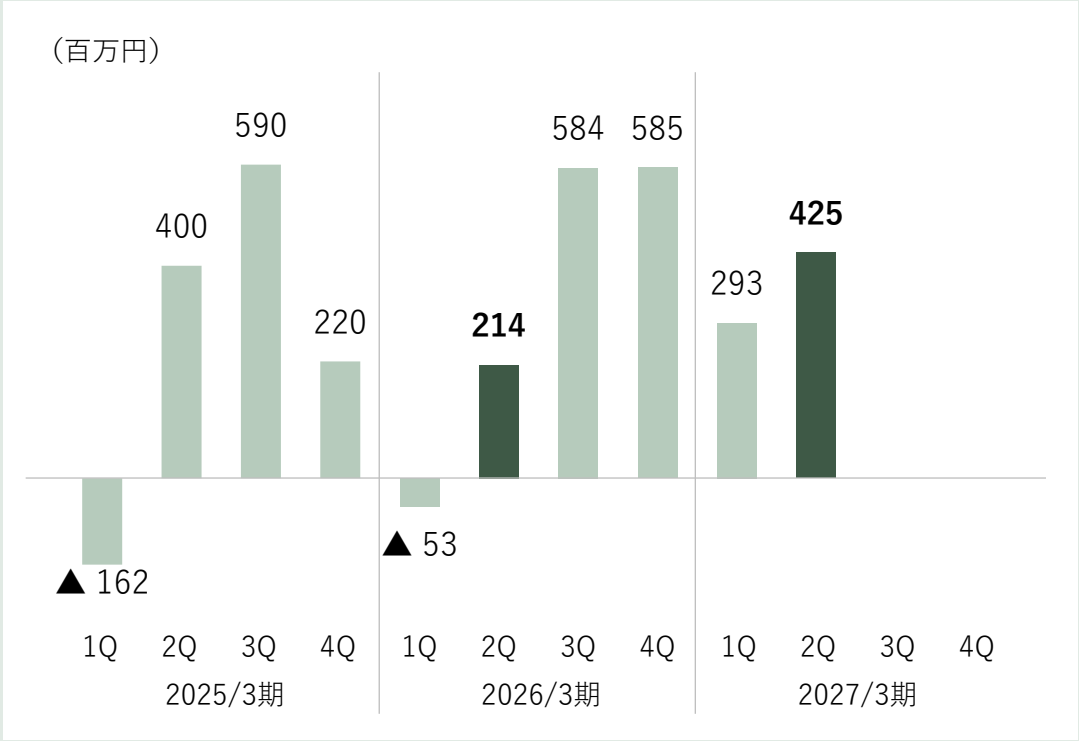
当第１四半期比：新卒配属の進捗や稼働日数の寄与により増収



営業利益

前年同四半期比：製造請負・派遣事業が主要顧客の減産影響により減益も、
技術者派遣事業およびEMS事業が好調により大幅増益

当第１四半期比：技術者派遣における新卒配属が順調に進み稼働率が向上

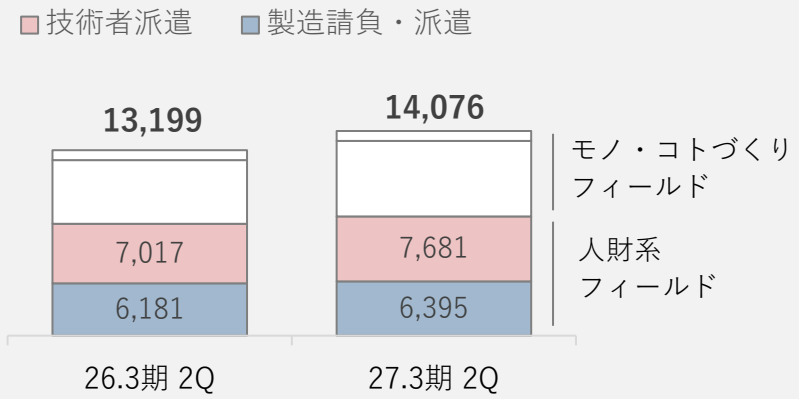


セグメント別業績　人財系フィールド

製造請負・派遣事業　：生成ＡＩ・データセンター関連の投資拡大により半導体需要は堅調。一部主要顧客の減産影響や雇用・採用に掛かる費用の増加により減益

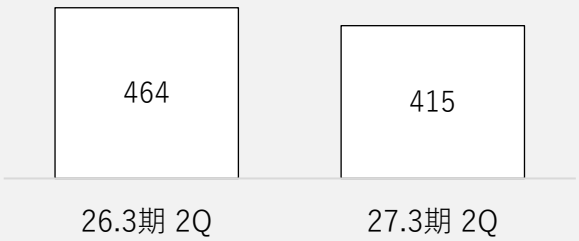
技術者派遣事業　　：育成型派遣モデルが顧客開拓につながり増収。技術スキルに応じた契約単価の見直し、 新卒技術者の本格稼働に伴い大幅増益

セグメント売上高（百万円）



※セグメント間取引を含む
※報告セグメントに含まれない「その他」の売上高は含まない

セグメント利益（百万円）



人財系フィールド（百万円）		2026/3期 2Q	2027/3期 2Q	前年同期比
売上高		13,199	**14,076**	+ 6.6%
セグメント利益		464	**415**	▲ 10.5%
製造請負・派遣	売上高	6,181	**6,395**	+ 3.4%
	- 製造請負	2,650	**2,426**	▲ 8.5%
	- 製造派遣	3,531	**3,968**	+ 12.4%
	事業利益	294	**102**	▲ 65.2%
技術者派遣	売上高	7,017	**7,681**	+ 9.5%
	- 機電	2,679	**3,033**	+ 13.2%
	- 建設	2,901	**3,148**	+ 8.5%
	- IT	1,435	**1,500**	+ 4.5%
	事業利益	169	**313**	+ 84.3%

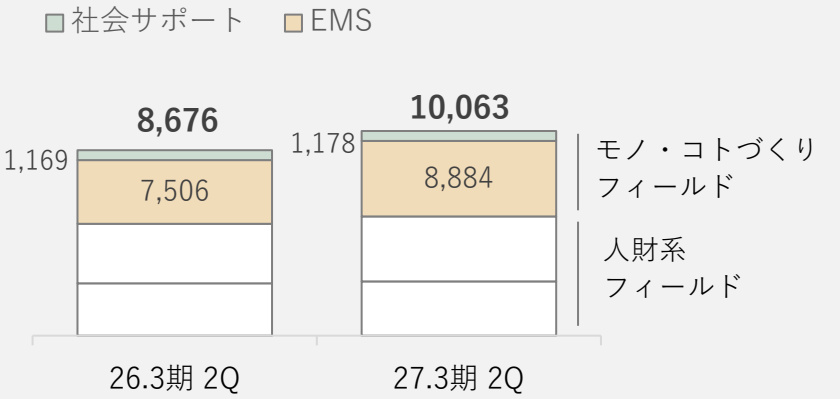
※売上高にはセグメント間取引を含む

セグメント別業績　モノ・コトづくりフィールド

EMS事業　　：国内における設備投資需要が伸長し新規受注が大幅に拡大。航空関連の特殊照明や工場設備照明の需要獲得により増収増益

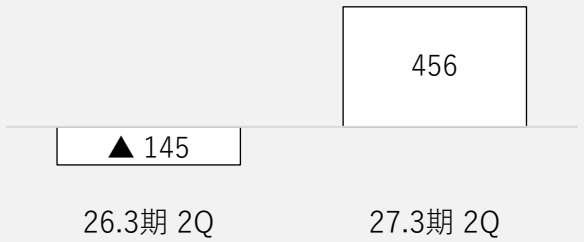
社会サポート事業：再生可能エネルギー関連需要は堅調。一部顧客の特別需要が一巡した影響があるも、安定的な事業拡大に向け投資を継続

セグメント売上高（百万円）



※セグメント間取引を含む
※報告セグメントに含まれない「その他」の売上高は含まない

セグメント利益（百万円）



モノ・コトづくりフィールド（百万円）		2026/3期 2Q	2027/3期 2Q	前年同期比
売上高		8,676	**10,063**	+ 16.0%
セグメント利益		▲ 145	**456**	–
EMS	売上高	7,506	**8,884**	+ 18.3%
	- 電子部品製造・販売	1,676	**2,230**	+ 33.1%
	- 照明器具製造・販売	5,830	**6,654**	+ 14.1%
	事業利益	▲ 189	**455**	-
社会サポート	売上高	1,169	**1,178**	+ 0.8%
	- 社会インフラ	763	**696**	▲ 8.8%
	- 雇用サポート	174	**199**	+ 14.4%
	- サーキュラーエコノミー	231	**283**	+ 22.5%
	事業利益	43	**1**	▲ 97.5%

※売上高にはセグメント間取引を含む

03

2027年3月期　業績予想

2027年3月期 業績予想

2027年3月期 業績予想

市場環境　　：雇用環境の改善や企業のＤＸ化に向けた堅調な設備投資意欲、世界的なＡＩ関連需要の高まりにより、緩やかな回復基調が継続

予測されるリスク：エネルギー価格・原材料費・物流費・人件費などの価格上昇にともなう物価高圧力や、人手不足による供給制約の顕在化など注視が必要

項目（百万円）	2026/3期 実績	2027/3期 通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	45,936	**47,740**	+1,804	+3.9%
営業利益	1,330	**1,350**	+20	+1.5%
経常利益	1,463	**1,420**	▲43	▲3.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	897	**923**	+26	+2.8%

※市場動向に変化があった場合は、速やかに予想の修正を発表

適時開示

株式分割と配当予想の修正

株式分割の目的

当社の普通株式に係る投資単位当たりの金額を引き下げることにより、
株式の市場流動性を高め、より幅広い層の投資家の皆様に当社株式を保有頂く機会を創出するため。

株式分割の概要

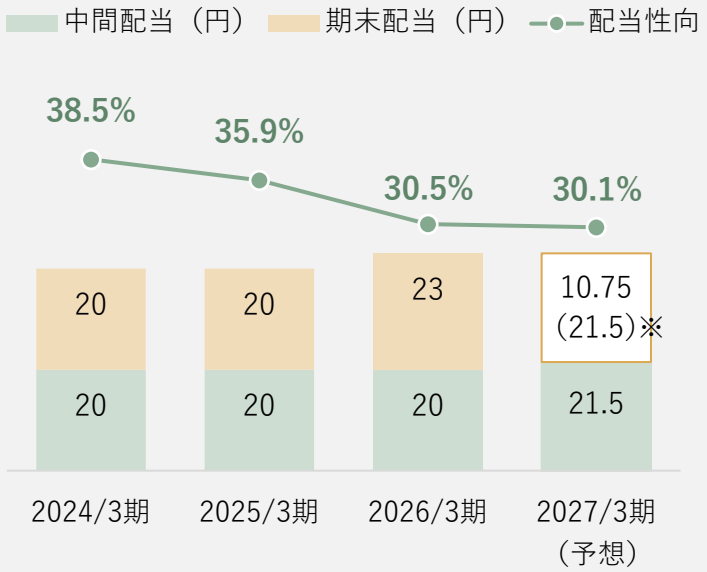
株式分割
1株 → 2株

- **基準日：2026年12月31日（木曜日）**
  （実質的な基準日は2026年12月30日）
- **効力発生日：2027年1月1日（金曜日）**

配当予想の修正と配当金の推移

株式分割に伴い、2026年5月に開示済の配当予想を修正。
期末配当金は株式分割比率にあわせるため、実質的な金額の変更なし。

	第2四半期末	期末	年間
前回予想	21円50銭	21円50銭	43円00銭
修正予想 （株式分割前換算）	21円50銭	10円75銭 （21円50銭）	ー （43円00銭）



※2026年12月31日を基準日とする１株につき２株の株式分割前換算

適時開示

株主優待制度の変更・拡充

株主優待制度の目的

中長期的な企業価値向上に向けた成長を株主の皆様と共有できるよう、
株主優待獲得に必要な最低保有株式数の実質的な引き下げを実施



現行		変更後（株式分割後）	
保有株式数	贈呈金額	保有株式数	贈呈金額
-	- 新設	**300株以上 600株未満**	**kids smile QUOカード 3,000円分（年間6,000円分）**
300株以上 700株未満	kids smile QUOカード 5,000円分（年間10,000円分）	600株以上 1,400株未満	kids smile QUOカード 5,000円分（年間10,000円分）
700株以上 1,500株未満	kids smile QUOカード 10,000円分（年間20,000円分）	1,400株以上 3,000株未満	kids smile QUOカード 10,000円分（年間20,000円分）
1,500株以上	kids smile QUOカード 15,000円分（年間30,000円分）	3,000株以上	kids smile QUOカード 15,000円分（年間30,000円分）

※9月末及び3月末時点で当社株式を6か月以上保有している株主様対象

変更のポイント

- **株式分割に伴い保有株式数を変更**
- **（分割後）300株～の区分を新設**
  - 株主優待獲得のための最低投資金額が、株式分割前と比べて約半分に。
- **2027年3月末は保有期間の制限なし**
  - 2027年3月の権利確定日に、優待獲得に必要な株式数を保有する全株主が対象。

04

APPENDIX

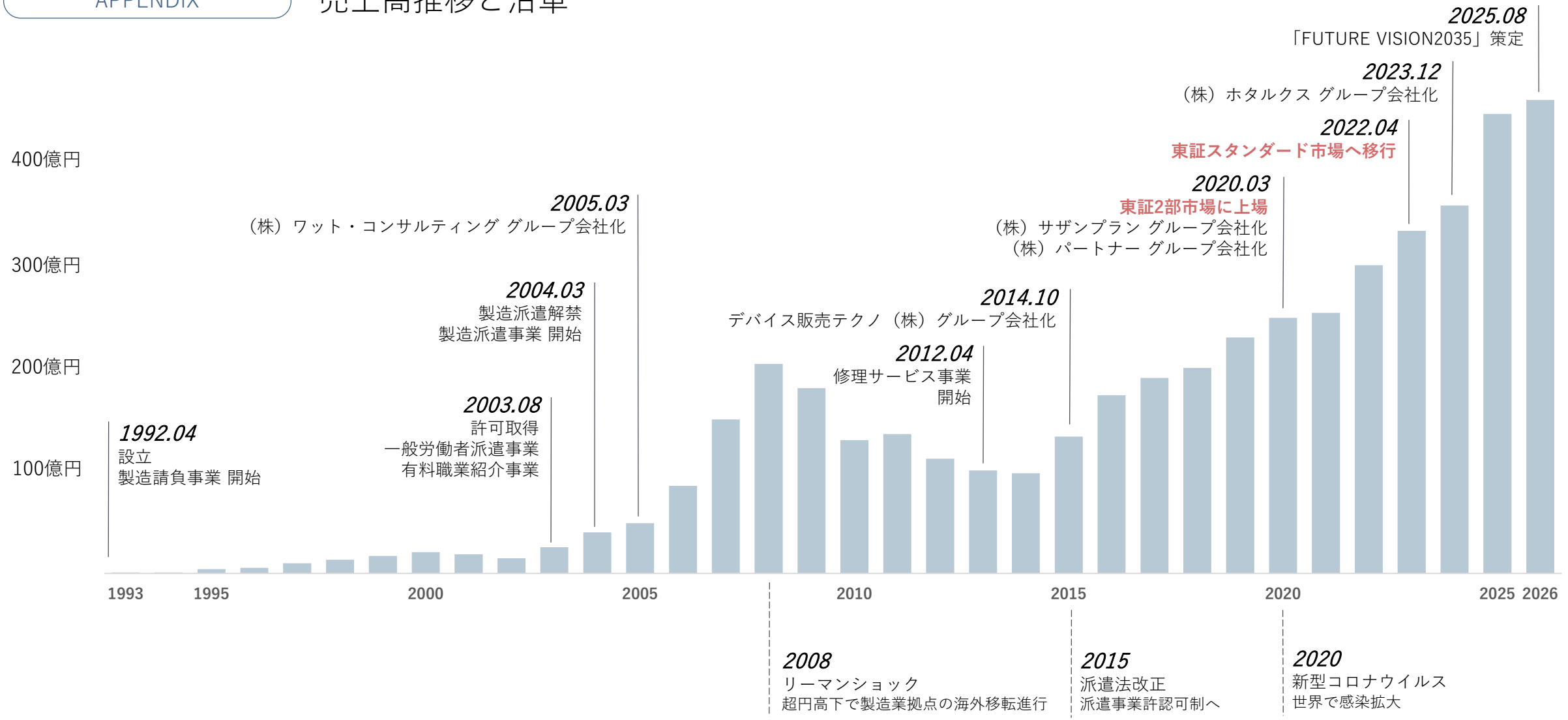
APPENDIX

会社概要

社名	株式会社ウイルテック（英文表記：WILLTEC Co.,Ltd.）
代表者	代表取締役　宮城 力
設立年月日	1992年（平成4年）4月
本社所在地	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国4丁目3番1号
資本金	168,290,000円
役員構成	- 取締役 会長執行役員　小倉 秀司 - 代表取締役 社長執行役員　宮城 力 - 取締役 常務執行役員　水谷 辰雄 - 取締役 上席執行役員　野地 恭雄 - 取締役 上席執行役員　西 隆弘 - 取締役 上席執行役員　渡邊 剛 - 取締役 上席執行役員　石井 秀暁 - 取締役 執行役員　塩塚 大介 - 取締役（常勤監査等委員）　花木 紀好 - 社外取締役（監査等委員）　麻田 祐司 - 社外取締役（監査等委員）　見宮 大介
事業内容	製造請負／製造派遣／技術者派遣／受託製造／電子部品卸売／修理サービス／海外人材育成など
売上規模	45,936百万円（連結／2026年3月期）
従業員数	【連結】6,180名　【単体】4,066名（2026年9月末時点）※平均臨時雇用者含む

APPENDIX

売上高推移と沿革



創業期・地域基盤の構築

事業拡大からの低迷期
（ビジネスモデルの水平展開）

事業ポートフォリオの再構築期

APPENDIX

人財系フィールド（1）　製造請負・派遣事業

製造派遣契約を通じて新規顧客の開拓を進め、当社の強みである「改善の風土」を活かして製造請負契約へと発展。

改善活動と製造ラインの自動化・省人化の提案を通じて生産効率の向上を図り、ローコストオペレーションの実現。

ターゲット

- 家電メーカー・電子機器メーカー
- 半導体メーカー
- 医療機器メーカー
- 通信機器メーカー
- FA（ﾌｧｸﾄﾘｰｵｰﾄﾒｰｼｮﾝ）メーカー
- ロボット関連メーカー　　など

強み

1	改善の風土	グループ内で改善活動を共有し、仕組みとして浸透	❯	改善が生まれ続ける組織文化を醸成
2	製造ノウハウ	生産現場に寄り添った効率化の工夫を実践	❯	低コスト×高効率のローコストオペレーション
3	品質管理	メーカー水準の品質管理体制で信頼性ある製造を実現	❯	顧客からの厚い信頼と高品質の実績







事業戦略

製造派遣　必要な時期・規模で迅速に労働力を提供



お客様の信頼を獲得し、ウイルテックの強みが更に活きる事業形態へ

製造請負　生産工程の一部または全体を当社の責任と指揮のもとで遂行



製品ロスの低減

当社とお客様双方にメリットのある“Win-Winの関係”へ

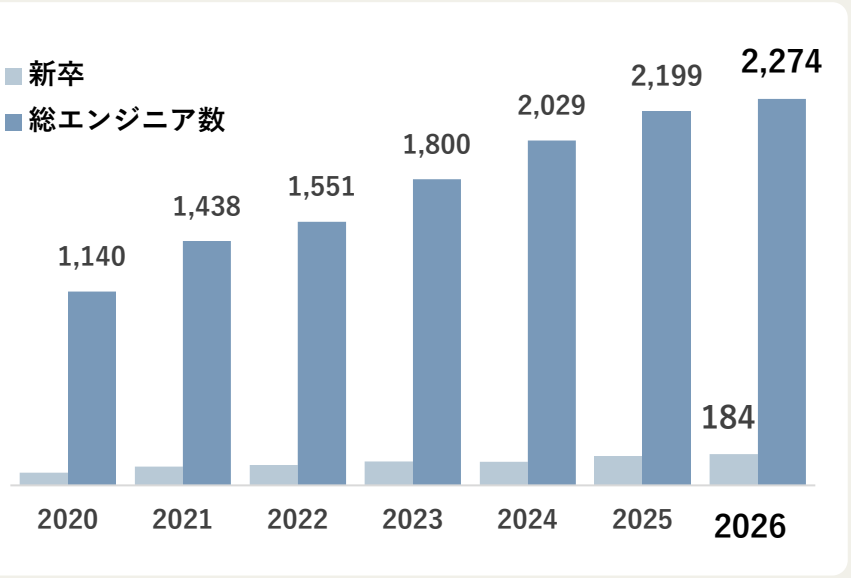
生産効率向上

APPENDIX

人財系フィールド（2）　技術者派遣事業

新たな技術の習得に意欲を持った新卒・第二新卒採用を中心に、未経験者採用に注力。
教育コンテンツの開発や教育機会の拡充に取り組んできた強みを活かし、若手エンジニアの早期戦力化に努める。

注力　採用



未経験者採用に注力

新卒比率
8.1%

強み　教育

充実した教育環境により、新卒社員であっても
即戦力として活躍できる体制を構築

■ 教育プログラム事例



Construction Boarding
建設エンジニアのための
Z世代に最適な新しい建設学習アプリ



ジョブトレシリーズ
実施してきた研修内容を基に編集



定着

APPENDIX

モノ・コトづくりフィールド（1）　EMS事業

国内製造業の構造改革が進む中、製造拠点の国内回帰の流れが強まる。
グループシナジーを最大限に活かし、「設計」から「保守」に至るまで「国内一気通貫」で担う、短納期・高品質なEMSサービスを提供。

なぜ国内回帰が進んでいるのか

災害・パンデミック
物流停止、工場閉鎖など海外製造のリスクが露呈

地政学リスク
政情不安による調達難

為替変動（円安）
国内生産の方がコスト優位になる場面も

なぜEMSが必要とされるのか

製造業のファブレス化
自社での設備保有を避け、委託する流れが加速

製造品目の選択と集中
核心分野にリソースを集中し、それ以外は委託

国内にあるEMS企業の需要が高まってきている

地理的な近さが重要ポイント

やっぱり国内が安心できる

得意な製造物だけに集中したい

設備投資を抑えたい



グループの強みを結集した“国内生産”一気通貫体制

WILL ONE

techno　**部品調達／基板実装／検査**
「モノづくり」の技術商社

HotaluX　**設計／組立／検査／評価**
歴史ある国内照明器具メーカー

WILLTEC　**製造ライン設計／アフターサービス**
多様な製造ノウハウを蓄積

APPENDIX

モノ・コトづくりフィールド（2）　社会サポート事業

世の中の社会課題を事業機会と捉え、ウイルテックグループの強みを生かせる3つの分野で事業を展開。

既存事業の安定的なサービス提供に加え、社会課題から生まれる新領域への参入を通じて、次世代の柱事業となるよう注力。

社会インフラ（エネルギーインフラ・ロボット）

- 家庭用蓄電池の保守メンテナンス
- 建設受託工事事業の拡大（現地調査、補助金申請、設置工事）
- 製造現場・物流現場でのロボット活用の提案
- ロボット導入から保守にいたるカスタマーサービス

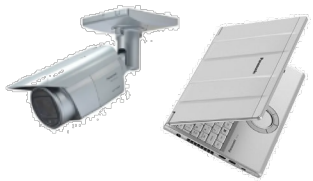




サーキュラーエコノミー

- 中古OA機器の買取・修理・販売
- リファビッシュ サービス





雇用サポート

- 海外人材の生活サポート
- 日本語教育および実務研修
- 外国人エンジニアの採用プラットフォームの運用







WILLTEC

本資料に関するお問い合わせ先

情報統括部 広報・IR課 IR担当

ir@willtec.jp